

# 上越市食料・農業・農村基本計画



令和3年3月  
新潟県上越市

～ 当市が誇る農業・農村の価値と魅力が

これからも輝き続けるために ～

日本海の大海原に面し、広大な大地に広がる水田。上越市は、春には緑のじゅうたん、秋には黄金色に輝く美しい農村の景観を織り成し、中山間地域には、訪れる人々の心身を癒してくれる豊かな自然があるなど、古来より農業を基調とした農村文化を育んでまいりました。

農業・農村は、私たちが生きていく上で欠かせない食料を供給してくれます。また、その生産活動の中で、国土の保全、水源のかん養、長きにわたって形成、継承されてきた文化や伝統など、私たちの暮らしに様々な恵沢をもたらしてくれます。

しかしながら、農業をとりまく環境は、食の多様化や人口減少の影響等による米の消費量の減少、生産者の高齢化や担い手不足、中山間地域を中心とした鳥獣被害など、様々な課題に直面しているとともに、もはや常態化しつつある異常気象や、今般の新型コロナウイルス感染症拡大に伴う経済活動の自粛や行動制限の要請による消費の落ち込みが重なり、更に状況は厳しいものと認識しております。

このような中、今回の食料・農業・農村基本計画の見直しにおいては、上越市農業が安定的かつ持続的に営まれ、美しい田園風景を確実に次の世代へ引き継いでいくため、担い手の育成・確保や農地の集積・集約化を進めることはもとより、経営の規模にかかわらず農地を守り続ける経営体による農業経営の底上げにつながる対策を講じ、幅広い担い手の生産基盤を強化するとともに、地域の特色に応じた活力ある農村を実現するため、全庁を挙げて対策を推進してまいります。

農業は今や、かつての3Kのイメージから一変しています。スマート農業先進市を標榜する当市では、自動運転ドローンが肥料と農薬をまき、ロボットトラクターが耕し、スマートフォンで給水を行うなど、ICT技術を導入することで、軽労化のみならず低コスト化を進める先進的な農家さんが急増しております。

この基本計画を通して、農業者はもとより、市民、更には市外や県外の皆さんにも上越市農業・農村の魅力を知っていただき、国、県、農業従事者、関係団体等と連携を図りながら、それぞれの立場の責務と役割を果たしつつ、農業政策と地域政策を車の両輪として推進し、全国をリードする食料生産基地として、力強い上越市農業と美しく活力ある農村の実現につなげていきたいと考えております。

上越市長 村山秀幸